

インサイトで意思決定を強化する5つのメリット

建物オーナーのためにプロジェクトの可視性を高める方法



01 チームがひとつに連携

共通データ環境を使用すれば、クラウドに接続したデバイスを通じてチームと BIM データがひとつに繋がり、プロジェクトフェーズ間の引き継ぎが効率化し、コストのかかる手戻りが低減します。

「モデルでは、設計者、プランナー、サプライヤーなどの関係者全員が共通言語でコミュニケーションできます。それはまるで人々が集まり、すべてが一体化するオーケストラのようです」

Porsche 社 デジタル プランニング プロジェクト マネージャー
Till Moczarski 氏



3つ以上のモバイルアプリケーションを使用している建設会社の割合

出典：JB Knowledge 2020 Construction Tech Report



リスク管理と予測に割り当てられるプロジェクトコストの割合*

02 リスク管理

共通データ環境によって実現される可視化と管理によって、オーナーはプロジェクトライフサイクルの早い段階から潜在的なリスクを特定、排除できます。

「モデルにスケジュールをリンクし、プロジェクト全体を BIM 360 で調整しました。建設中、私たちは行った作業を検証しました。しっかりと計画することも大切ですが、計画の進捗状況を検証することも重要です。計画通りに建設現場の作業を進めることができれば、遅延、不具合、想定外の事態が発生するリスクは低減します。」

Mace Technology 社 プログラム BIM リード/Paddy Ryan 氏

出典：「Passing the Baton」Bryden Wood 氏、英国（発行：North American Engineering Executive Council）

03 コスト削減

建物オーナーが既存の建物資産について深く理解することができれば、最終的に収益を増やし、建物資産のライフサイクルコストを削減し、不動産の再販価格を最大限に高めることができます。

「通常は現場で修正するようなコンピューター上の問題を、事前に数多く修正できました。何十万ドルもの節約になったと思います」

Siler Oak Cellar Winery 社 CEO/David Duncan 氏

クラウドベースの BIM コラボレーションのおかげで、ブラウン大学のプロジェクトで次の成果を達成できました。



90%のコストを削減



90%の時間を節約

出典：https://www.autodesk.co.jp/customer-stories/burohappold

都市住宅を提供する不動産開発業者の Brusnika 社は、BIM 360 を共通データ環境として使用することで、設計に関わる連携の調整にかかる時間を短縮しました。



04 スケジュールの短縮

オーナーは、デジタルの成果物にクラウドベースの共通データ環境の標準化アプローチを採用することで、設計プロセスを加速させることができます。

「当社は Revit と オートデスクの BIM ソリューションによって設計から建設までのスピードと俊敏性を実現し、現在の成功を達成できました。これらのソフトウェアを使用すれば、必要な情報にすぐにアクセスして意思決定を迅速に行い、新たなワークスペースを構築できます」

WeWork USA 社 チーフ プロダクト オフィサー/Dave Fano 氏

出典：https://construction.autodesk.com/customers/brusnika-case-study/（英語）

05 建物資産の優れたパフォーマンス

物理的な資産をリアルタイムかつオンデマンドで把握できるため、オーナーは建物ライフサイクル全体を通じて価値を最大限に高めることが可能になります。

「オートデスクのツールを使用して、設計・施工プロセス全体を通じて建物データを収集し、（共通データ環境に）公開するプロセスを設計することができました。プロセスにソフトウェアを活用することで、患者が来院するまでに CMMS（保守管理システム）を完全実装するという目標を達成できました」

アーカンソー小児病院 施設オペレーション ディレクター/Chet Howard 氏



建物のライフサイクルコストのうち、運用・保守が占める割合。初期建設費の3倍を超えることもよくあります

出典：https://www.wbdg.org/resources/design-for-maintainability（英語）



資産のライフサイクル全体にデータとテクノロジーの標準を設定しましょう

オートデスクのソリューションで、プロジェクトの可視性と建設データの可用性が最大限に高まり、運用・資本プランニングが向上します。